

体によるブロック会議において議論し、地域の意見や実情など反映してまいります。

公共交通については、「八雲町地域公共交通網形成計画」に基づき、熊石八雲間の予約バス運行が行われており、今後も高齢化の進展により、買い物や通院など生活に必要な移動手段の確保は重要であることから、将来の八雲町を見据えた公共交通網構築のため、引き続き関係機関の協力を得ながら検討を続けてまいります。

(6) 上・下水道の整備

水道事業は、安全で安心な水道水の安定供給に向けて「八雲町水道事業ビジョン」に基づき、老朽化した配水管および電気計装設備の更新や取水施設の改修、水源施設の井戸浚渫を行うほか、出雲通街路事業および本町大通無電柱化事業や新幹線工事に伴う配水管の移設を進めてまいります。

熊石地域簡易水道事業は、浄水場の機械設備等の更新工事を実施し、施設の適正管理に努めるとともに、経営の健

全化を図ってまいります。

下水道事業については、「ストックマネジメント計画」に基づき、管渠布設工事および下水処理場改築更新工事を進めるとともに、「下水処理場耐震診断調査業務」などに着手してまいります。

農業集落排水事業については、最適整備構想に基づき下水処理場改築更新工事を進めるとともに、「維持管理適正化計画策定業務」に着手してまいります。

下水道整備区域外については、水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽による水洗化の推進を図ってまいります。

また、各事業において、令和5年度改定の「経営戦略」に基づいた計画的な経営に努めるとともに、使用料の改定など経営健全化に向けた取り組みを進めてまいります。

真萩ポンプ場については、ストックマネジメント計画に基づき、効率的な修繕による延命化を図るため、機械設備の更新工事を進めてまいります。

(7) ごみ処理等の環境整備

ごみ処理等の環境整備については、ごみの減量化や資源化、適正な処理に取り組み、環境負荷の少ない循環型の地域づくりを進めるとともに、多様化する分別収集の課題整理に努めながら、引き続き収集体制の効率的な実施方法を検討してまいります。

また、災害時に発生する廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するための「災害廃棄物処理計画」の策定に着手いたします。

海岸漂着物処理事業については、ボランティア団体等による回収活動の参加者が年々増えており、さらに環境配慮への行動が深まるよう継続実施してまいります。

最終処分場浸出水処理施設については、供用開始から23年が経過し、設備の経年劣化による故障等が発生しており、「電気計装設備更新工事」に着手してまいります。

(8) 緑化・環境美化の推進

町内の各公園については、遊具などの定期的な点検を実施し、各町内会などの協力を

得ながら、安全かつ適正な維持管理に努め、改修整備の際には利用者などの意見を取り入れながら事業を進めてまいります。

(9) 防犯・交通安全の推進

令和5年度は、国道5号において多数の死傷者が出る交通事故が発生し、八雲警察署をはじめ、関係機関や交通安全団体による事故防止対策会議を実施し、安全対策に取り組んでまいりました。交通事故の減少に向け、今後も交通安全施設の整備を進めるとともに、交通安全教育等により交通安全意識の高揚に努めてまいります。

また、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、令和5年度から通学路を中心に防犯カメラを設置し、児童・生徒の安全確保に努めておりますが、令和6年度においても防犯カメラ設置に取り組みながら、防犯協会や自主防犯パトロール隊などの関係団体と連携を図り、街頭啓発活動等に取り組んでまいります。

年々、複雑巧妙化する特殊

詐欺や悪質商法などの消費者被害を防止するため、関係機関・団体との連携による町民への啓発活動の推進とともに、消費生活相談体制を継続してまいります。

(10) 消防・救急体制の充実

全国的に住民の生活を脅かす自然災害は頻発化、激甚化の一途を辿っているところで、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりには消防力の強化が必要であるため、救急救助資機材等の計画的な更新を行ってまいります。

救急・救助の強化、拡充については、救急隊員の知識・技術・判断力の向上が求められるため、消防学校や病院における専門的教育を受講させるとともに、令和6年度はさらなる救命率の向上のため、指導救命士研修所へ職員を派遣し、救急隊員に対する教育体制の充実強化に努めてまいります。

消防団員の確保は喫緊の課題であるため、団員加入に向けた取り組みを進めるとともに、高齢化していく団員の健康管理に留意し、短期人間